

★ 提案3に賛成の議論 ★

提案3に賛成票を投じてください—婚姻の自由を守りましょう!

提案3は、性別や人種に関係なく、すべてのCalifornia州民の婚姻の権利を保護します。

提案3は、現在の裁判所の判決とCalifornia州民としての価値観を反映し、同性カップルの婚姻を認める現行の法律に合わせて州憲法を改正するものです。

提案3は、市民と宗教指導者、および公民権指導者による幅広い超党派連合によって支持されています。

なぜ提案3が必要なのでしょう?

同性カップルの婚姻の平等が米国全土で法制化されてから何年も経ちますが、California州の憲法には依然として同性カップルが結婚できないと記載されています。近年、基本的権利に対する脅威が増していることから、California州は性別や人種に関わらず、婚姻の自由を保護するために積極的な取り組みを行う必要があります。

提案3は、婚姻は男女間のみであるとするCalifornia州憲法の差別的な文言を削除し、結婚の権利を基本的権利として確立し、同性カップルや異人種間カップルを保護すると正式に記しています。

California州は常に公民権と個人の自由の保護における先駆者でした。提案3はその遺産を受け継いでいます。

この提案はCalifornia州の宗教の自由を尊重しています。宗教者や宗教団体が婚姻を執り行うことを拒否する既存の権利を変更するものではありません。

提案3の支持者は、賛成票を投じるように呼びかけます:

「提案第3は、性別や人種に関わらず、すべてのCalifornia州民が愛する人と結婚する権利を保護します。」—イコリーティCalifornia

「この提案は宗教コミュニティの憲法修正第1条の権利を尊重しながら結婚の権利を保護するので、宗教指導者とし

て、私は提案3を支持します。」—Jeff R. Johnson牧師、the Evangelical Lutheran Church in America's Sierra Pacific Synod

「この投票法案は、U.S.最高裁判所が獲得した権利を取り消す意向を明確に示し、数百万のCalifornia州民の自由を脅かしている重要な時期に提出されています。」—American Civil Liberties Union of Northern California

同性カップルの婚姻の平等が米国全土で法制化されてから何年も経ちますが、California州の憲法には依然として同性カップルが結婚できないと記載されています。この問題を解決するために提案第3に賛成票を投じましょう。すべての人々の基本的権利を尊重し、あらゆる場所で差別と闘うことは、California州の価値観です。提案3は、California州の住民全員の公民権保護への取り組みをさらに支援します」—Dolores Huerta, 会長, Dolores Huerta 財団

提案3に賛成することは、すべての人に自由と平等の権利を与えることを意味します。

詳細はこちらをご覧ください: yesonprop3CA.com

州議会議員 **Evan Low**

Tony Hoang, 専務取締役

イコリーティCalifornia

Jodi Hicks, 最高経営責任者

California州家族計画連盟

★ 提案3の賛成意見に対する反論 ★

提案3の作成者は、「婚姻の自由」に関するものだと言っていますが、それは真実ではありません。この極端な修正は行き過ぎで、弱い立場の人々を危険に陥れます。これは、州法を改正するだけではありません。この政策は、婚姻と子どもを保護する重要な保障を奪います。

支持者たちは、提案3は「差別」に対処するために必要だと言いますが、同性婚は2015年から合法化されており、最高裁判所も他の誰もそれを変えようとしていません。この危険な政策を可決する理由はありません。

提案3は、婚姻に関するすべての保護を削除し、子ども、近親者、および三人以上の人々が互いに結婚することに対する制限を含めたすべての制限を取り除くものです。すべての文明社会は、人々を傷つけることを避けるために、これらを禁止しています。だからこそ、提案第3号の曖昧な文言は大きな問題を引き起こす可能性があります。

支持者たちは、公民権と公平性を重んじていると主張しています。しかし、提案3は、大人の欲求を子どものニーズよりも優先させています。「母親や父親は必要ない」とする考えは、子どもが安定した家庭で両親に育てられるときに最も

健全に成長するという、長年の研究と基本的な常識を無視するものです。

California州は、このリスクが高く不要な措置を取らなくても、平等な権利を支持することができます。提案3は、健全な家族、健全な子ども、そして健全な社会という私たちの共通の価値観を脅かすものです。これは平等の問題ではなく、結婚や家族の形を根本的に変える提案なのです。

私たちの子ども、家族、そして地域社会を守りましょう。提案3に反対票を投じてください!

詳細については、www.Proposition3.netまたはwww.CaliforniaFamily.orgにアクセスしてください。

Jonathan Keller, 会長

California家族会議

Rev. Tanner DiBella, 創設者

米国福音派協議会

★ 提案3に反対の議論 ★

California州民は、いわゆる「婚姻の自由」構想である提案3に反対票を投じるべきです。支持者たちは、この提案が現行の法律に合わせて憲法を改正するものだと言っていますが、実際には婚姻の定義を危険で予期せぬ形で変更するものです。

提案3の最大の問題は、婚姻に関するすべての法律を無効にしてしまう点です。「基本的権利」としての結婚を認めることで、児童婚、近親婚、一夫多妻制に対する保護が撤廃されてしまいます。これは、私たちがCalifornia州に求めるものなのでしょうか？提案3の不明確な文言は、社会に深刻な問題を引き起こし、私たちの社会に害をもたらします。

最高裁判所の判決に対抗するためにこの提案が必要だと聞くかもしれません。しかし、同性婚は2015年以来、全国で合法です。提案3は、存在しない問題を修正し、逆に害をもたらしています。

一部の支持者は、「過激な政治家」が婚姻の権利の脅威になる可能性があると言っています。しかし、結婚に関するすべてのガイドラインを撤廃したいと考えているのは、過激な提案3の支持者です。「平等」という言葉に隠れた過激派が、提案3の裏で結婚と家族のあり方を根本的に変えようとしています。

現在の法律や裁判所の判決は、性別、性的指向、人種、民族にかかわらず、すでに婚姻する権利を保護しています。これらの法律は、子どもを保護し、搾取を防ぎ、婚姻を二人の成人の同意による結びつきとして保持します。しかし、提案3はこれらの防護策を取り除いてしまいます。

California州が公民権を守るべきところ、提案3は子どもたちの権利を危険にさらしています。この提案は、一夫多妻制、すなわち複数の人が結婚することさえも容認する道を開きます。それは、弱い立場の女性や子どもたちを搾取する結果につながるだけです。これが私たちの州にとって望ましい「平等」でしょうか？

この政策は、結婚の定義を変えることにより、子どもには母親と父親両方は必要ないかのように示唆しています。

これは、子どもは安定した結婚家庭で母親と父親に育てられた時に最もうまく成長するというを示す長年の研究結果に反しています。

母親または父親のいない子どもは、感情的な問題を抱えたり、危険な行動をとったり、学校で苦労したり、経済的な問題に直面したりしやすくなります。

提案3は子どもたちの感情、身体的健康、教育に対するリスクを増大させます。

California州は、多様性と受容のリーダーです。しかし、真の進歩とは、すべての規則や保護の廃止を意味しません。必要な安全策を維持しつつ、慎重に法律を改善していくべきです。

子どもの母親や父親を排除するような形で急いで婚姻を再定義する代わりに、すべての大人が子どものニーズを最優先に考えるべきです。提案3は、このテストに完全に失敗しています。

「愛」や「受容」という言葉にだまされないでください。提案3は、州に損害を与える無謀で不要な政策です。権利を拡大するふりをしながら、婚姻に対する重要な保護を撤廃しようとしています。

California州民は、この拙劣で有害な提案よりも、はるかに良いものを求める権利があります。私たちは、児童婚、近親婚、一夫多妻制を認めることなく、結婚と公民権を守ることができます。常識的な婚姻の規則を守り、子供たち、家族、社会を守るために、提案3に反対票を投じてください。

詳細については、www.Proposition3.netまたはwww.CaliforniaFamily.orgにアクセスしてください。

Jonathan Keller、会長

California家族会議

Tanner DiBella、議長

米国福音派協議会

★ 提案3の反対意見に対する反論 ★

提案3の反対者は間違っています。事実はここにあります：提案3は、性別や人種にかかわらず、すべてのCalifornia州民の婚姻の権利を保護します。

提案3は、婚姻の年齢要件や結婚する人数に関するCalifornia州の法律を変更するものではありません。

The University of California、Davisの憲法の専門学者Aaron Tangは、「提案3は、California州憲法にある同性カップルの婚姻を禁じる時代遅れの文言を撤廃するものである」と指摘しています。

数十年間、提案3の反対者は同性カップルの婚姻の権利を否定しようとしてきました。反対者は、州憲法の中に差別用語を保持したいのです。それが、提案3に反対する理由です。

宗教指導者と公民権団体が提案3への賛成を支持

California州民の大多数は、性別や人種にかかわらず、すべてのCalifornia州民が愛する人と結婚する権利を持つべきだと信じています。これが、宗教指導者、公民権擁護者、家族中心の組織からなる幅広い超党派連合に提案3が支持される理由です。

California州は常に公民権と個人の自由の保護における先駆者でした。提案3はその遺産を受け継いでいます。

詳細はこちらをご覧ください：yesonprop3CA.com

提案3に賛成票を投じてください—婚姻の自由を守りましょう

上院議員 Scott Wiener

Mia Kirby、上級地域組織指導者

人権キャンペーン

Maria Roman、副会長

TransLatin@ Coalition